

**第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第 18 回広報・県民運動専門委員会 議事録（概要）**

1 日時

令和 2 年(2020 年) 6 月 18 日（木） 10:00～11:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎 7-D 会議室

3 出欠状況

委員 27 名中 21 名出席

出席：井口 貢委員長、上田 重和副委員長、東 登志也委員、池田 千晶委員、井尻 正志委員、一ノ宮 賢了委員、糸井 孝実委員、片山 昇委員、上村 照代委員、呉竹 政彦委員、坂田 しのぶ委員、渋谷 哲也委員、清水 健司委員、首藤 勲委員、高山 幸生委員、田中 孝昌委員、寺田 佳司委員、馬場 大輔委員、廣瀬 香織委員、村松 泰委員、宮本 英樹委員

欠席：上山 輝幸委員、清水 純一郎委員、圖司 紘子委員、谷口 郁美委員、八木 兵次郎委員、吉成 永部委員

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

審議事項（1）

※事務局から「イメージソング・ダンスの制作」について説明。委員より以下の意見があった。

【質疑】

<委員>

制作者の候補はいるのか。費用はどの程度になるのか。

<事務局>

事務局で滋賀ゆかりのアーティストを調査したところ、シンガーソングライターの「岡田兄弟」さん、「まつうらようこ」さん、3人組バンドとして活動されている「JERRY BEANS(ジェリービーンズ)」さん、県のふるさと観光大使である「西川貴教」さん、2人組ユニットで活動されている「～Lefa～(リーファ)」さんなどのアーティストがおられることがわかった。

制作費がどの程度になるかは、誰に頼むか、どのように頼むかなど、様々な条件によることになる。

<委員>

キャプフィーがデビューした「スポレク滋賀 2008」のイメージソングを担当した守山市の「佐合井マリ子」さんという方もいらっしゃる。候補者の一人として検討されればよい。

<委員>

滋賀県ゆかりと言えば、「山崎まさよし」さんや「ガクト」さんも挙げられる。

<事務局>

滋賀県出身であることを公表されているかどうかといったことや、歌のイメージとして、さわやかで歌いやすく、幅広い年齢に受け入れてもらえるかどうかといったところも検討する必要がある。

<委員>

イメージソングやダンスの活用例が挙げられているが、滋賀独自に工夫するところはあるか。

<事務局>

独自の工夫と言われると難しいが、先催県では、ソングのショート版や座って踊るダンスを制作するなど工夫されている。先催県を参考とし、活用について検討したい。

<委員>

先催県では、ダンスの振り付けは、プロの振付師でなく体育連盟や大学教授に依頼されているが、滋賀県も同じように考えているのか。

<事務局>

先催県を参考にしながら検討していきたいと考えているが、ソングとダンスを合わせて滋賀ゆかりのアーティストに制作依頼するという方法もあるのではないかと考えている。

<委員>

今後の予定についてももう少し詳しく説明してほしい。制作者の決定はこの委員会で行うのか。

<委員>

本日の専門委員会で、制作方法について公募でなく委託することについて了承いただけたら、あとは先方の御意向、また費用など条件面のこともあるため、事務局に一任し制作を進めてもらうというものである。

<委員>

「滋賀県民の歌」は2024年の両大会で活用される予定はあるのか。

<事務局>

今のところ、広報・県民運動関係で使用する予定はない。

<委員>

鹿児島国体がどうなるかわからない状況であるが、滋賀の開催年に影響してくれば、広報グッズに記載の「2024」を修正する必要がある。現在、このようなグッズの作成等はどうしているのか。

<事務局>

グッズの作成は様子を見て発注を保留している状況である。ラッピングバス等の大型広告も同様である。

<委員>

今年度の鹿児島大会については、まだ何も決まってはいるが、滋賀県は延期することを容認するのか。

<事務局>

鹿児島のことを思うと、延期が選択肢の一つとして検討されることは理解できる。その場合は、選手育成や経費の面などに多大な影響をおよぼすことが考えられることから、主催者の対応を踏まえて県としても対応していきたい。

審議事項（２）

※事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会部会設置要綱（案）」について説明。

【質疑応答なし】

以上